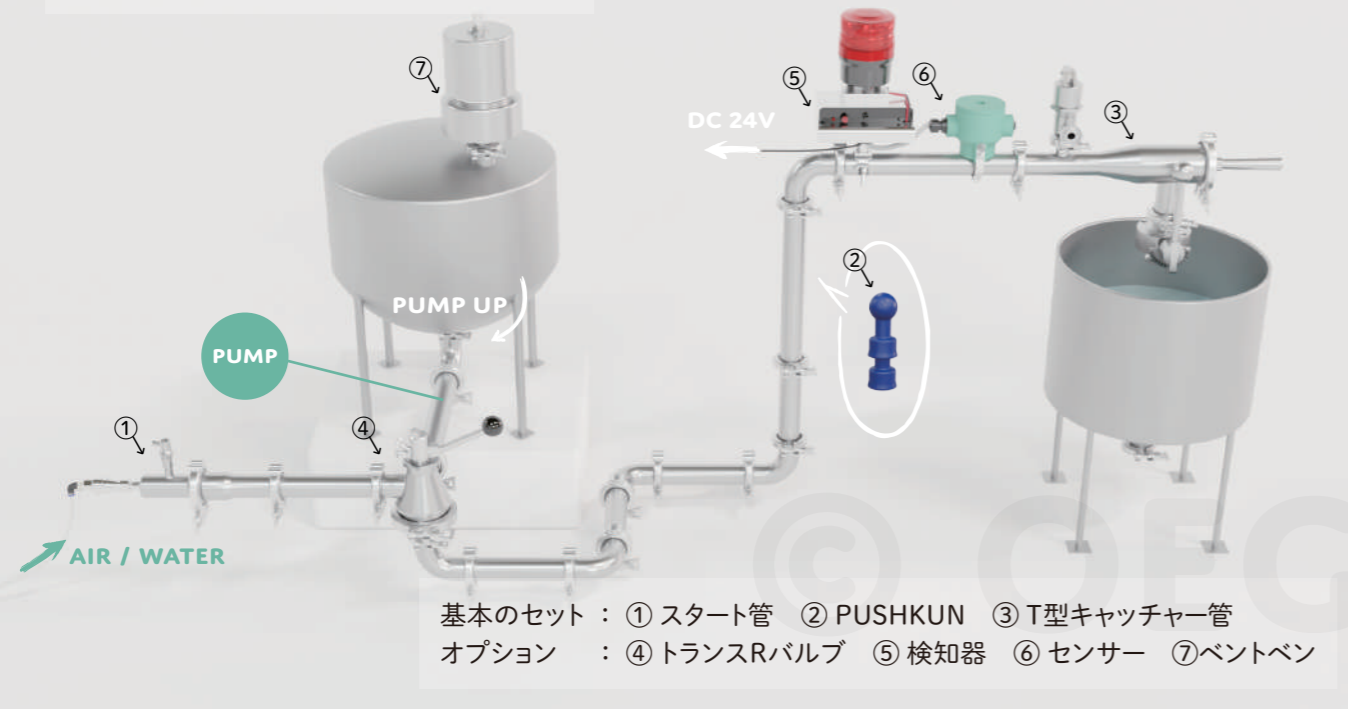


ワンウェイタイプ

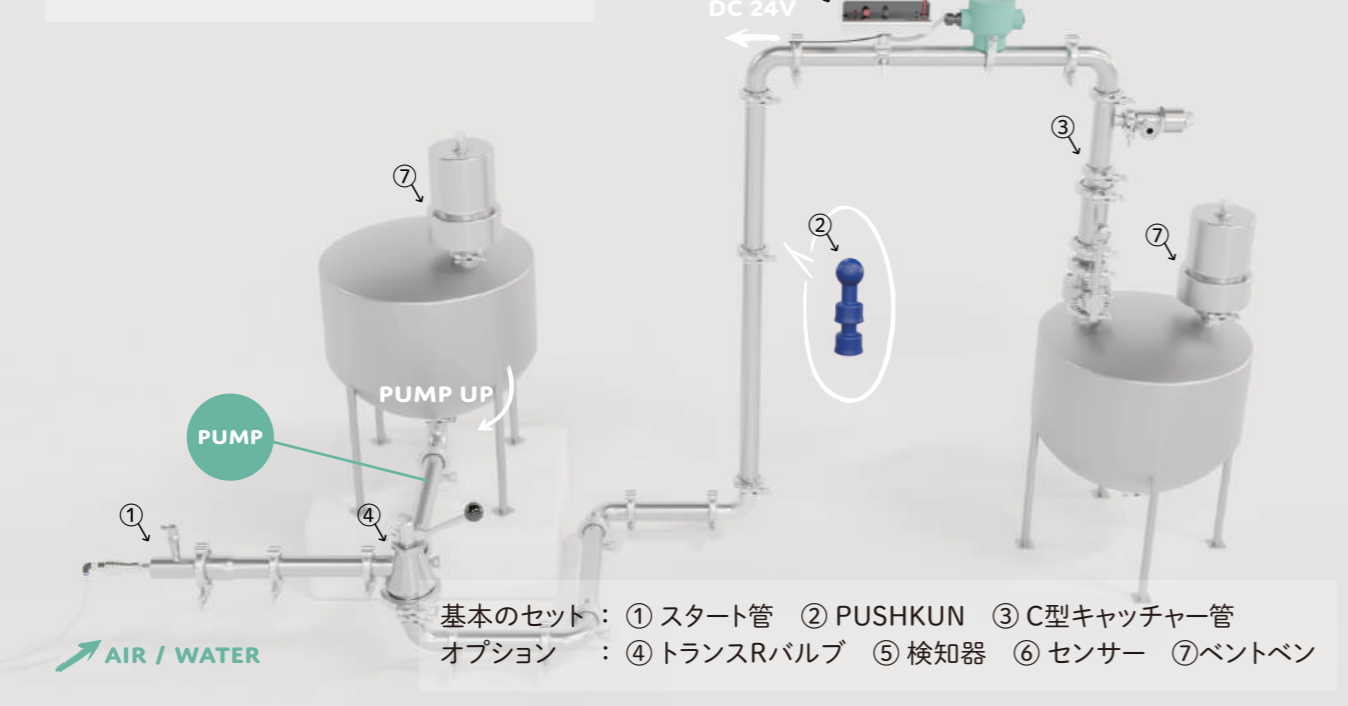
ワンウェイタイプは、原料の移送量が少ない場合や、取り扱う原料の種類が限られている場合、またラインが比較的短い場合に有効です。ただし、原料の特性によっては往復タイプが適している場合もあります。

ご参考見取り図

T型キャッチャー管の場合



C型キャッチャー管の場合

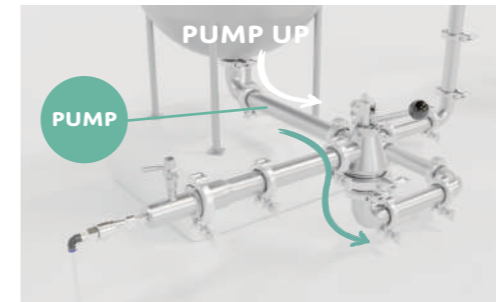


ワンウェイタイプ 運用手順

STEP1

原料の送液

タンクから生産ラインへ、バルブ方向を確認して原料を配管内にポンプで送り出します。



STEP2

バルブ方向の切り替え

ポンプを止めて、スタート管が生産ラインに繋がるようにバルブの方向を切り替えます。



STEP3

スタート管の準備

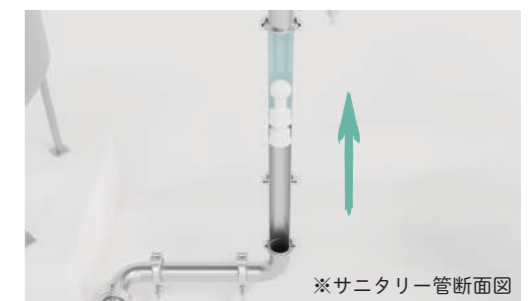
PUSHKUN を水で濡らしてスタート管に装填し、クランプで固定。メトルコックと排気弁が閉まっていることを確認して準備完了です。



STEP4

PUSHKUN を送り出す

エアカプラーからスタート管にエア圧を送り、PUSHKUN を配管内に進ませます。



STEP5

キャッチャー管で受け止め

PUSHKUN がキャッチャー管に到着すると、バスケット内に回収されます。



STEP6

エア抜きと取り出し

エア圧を停止後、排気弁かメトルコックで配管内の残圧を排出します。最後にキャッチャー管のクランプを外して、PUSHKUN を取り出します。



検知機能付きの PUSHKUN は、センサーからの信号を受け取った検知器が音と光で到着をお知らせします。

※配管内のエア圧が残った状態で PUSHKUN をキャッチャー管から取り出すと、PUSHKUN や原料が飛び出して思わぬ事故につながる場合があります。